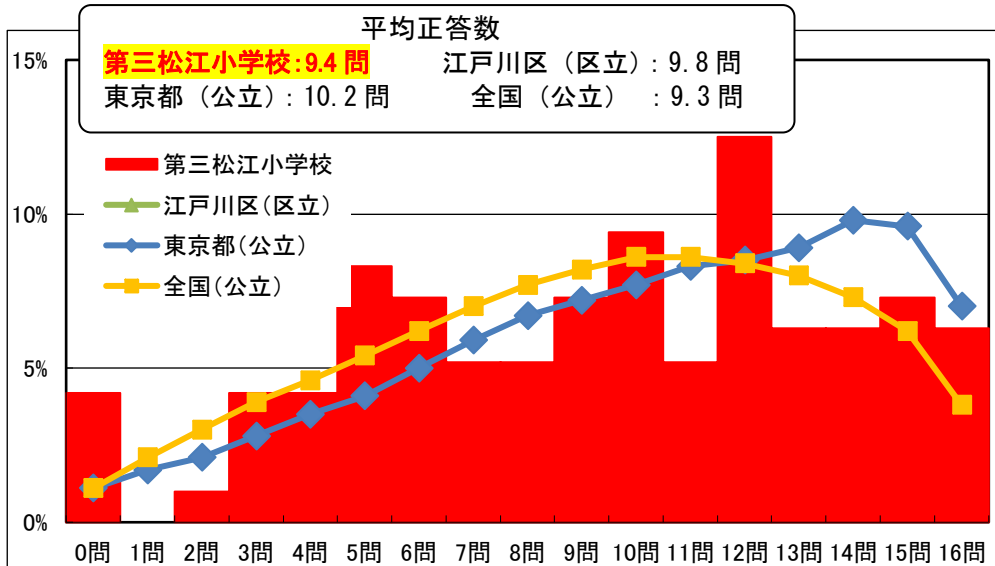


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 第三松江小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

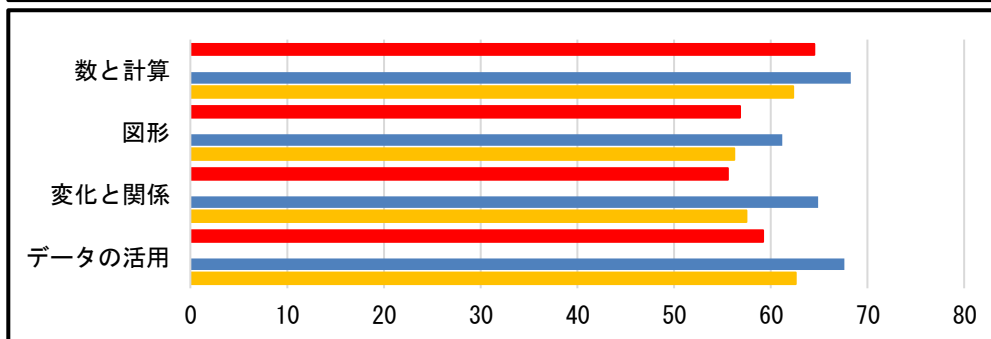
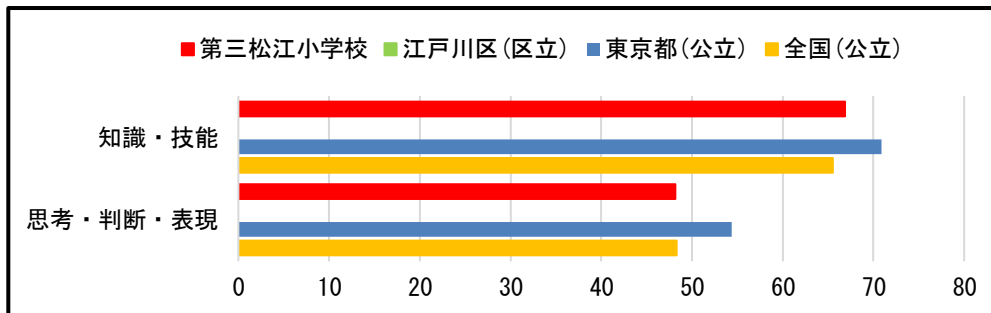
算数	上位 ← → 下位			
	A層 13~16問	B層 10~12問	C層 6~9問	D層 0~5問
第三松江小学校	26.2	27.1	25	21.9
江戸川区 (区立)	22.7	25.9	27.9	23.5
東京都 (公立)	35.3	24.5	24.8	15.3
全国 (公立)	25.3	25.6	29.1	20.1

【平均正答率の差】

第三松江小学校	59%
江戸川区 (区立)	61%
東京都 (公立)	64%
全国 (公立)	58%
都との差	-5ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

- ・B層が最も多く、約2ポイント差でC層が多い。C層D層が全体の半数を占めている。どの層も拮抗している。
- ・すべての領域において都の平均を下回る結果となった。タブレットや東京ベーシックドリルを用いて、4・5年の学習をもう一度復習することで6年生の学習の理解が深まるのではないかと考える。
- ・「思考・判断・表現」に関しては、一見解いたことがなさそうな問題が出て、一度問題文をしっかりと読み、既習事項と結び付けて考えさせる力を養う。そのために、授業の中で比較検討の時間を確実に設定し、自分の考えを説明したり、他者の考えと比較したりする経験を積ませていく。